

機密

内閣 告諭 案

皇軍陸海空一體ノ眞ニ感激スベキ善戰健闘ト官民不屈ノ協力敢闘トニ
拘ラズ沖繩本島ノ守備遂ニ成ラズ。恐懼何物カ之ニ加ヘン。

然レドモ沖繩^本島ニ於ケル作戰ニ依リ敵ニ與ヘタル損害ハ甚大ニシテ香
ニ敵ノ作戰遂行ニ齟齬ヲ來サシメタルノミナラズ、其ノ精神上ニ與ヘ
タル打撃ヲ思ヘバ我ガ今後ノ戰爭遂行ヲ有利ニ導キタルモノ誠ニ大ナ
ルモノアリト謂フヲ得ベシ。

惟ワニ敵ノ空襲ハ自今愈々苛烈ナルベク新ナル本土侵寇亦豫期セザル
ヲ得ズ。正ニ元寇以來ノ國難ニシテ帝國ノ存亡ヲ決スルノ秋ナリ。
神州ハ 御稜威ノ下我等ノ祖先之ヲ護持シ我等相俱ニ之ヲ保衛シテ永
ク子孫ニ繼承セシムベキノ地ニシテ未ダ嘗テ外夷ノ侵寇ヲ許サズ。焉

（以下は非常に淡く、ほとんど不可読な文字列が並んでいる）

ゾ之ヲ敵ノ蹂躪ニ委スルヲ得ンヤ。若シ此ノ志ニシテ違ハンカ我等何
ヲ以テカ。列聖ノ鴻恩ニ報_レ奉リ又何ノ顏アリテカ我等ノ祖先ニ對ス
ベキ。唯一億悉ク劍ヲ執ツテ起テ決死敢闘國體ヲ護持シ皇土ヲ保衛シ
以テ皇謨ヲ翼贊シ奉ルベキノミ。

即チ吾等ハ。聖訓ヲ恪守シテ義勇公ニ奉ジ朝野相依リ隣保相扶ケ紀律
ヲ尚ビ節制ヲ重ンジ各々其ノ職務ニ勵精シテ彌々士氣ヲ昂揚シ國家ノ
總力ヲ舉ゲテ敵ヲ千里ノ外ニ攘フベシ。作戰ノ方途ハ既ニ定マリ。戰
力充實ノ施策亦日ヲ逐テ進ム。而シテ國民義勇隊結成セラレテ國民ノ
隊伍新ニ成ルアリ。政府ハ從來屢々聲明シタル所信ニ從ヒ果斷邁進ス

本大臣ハ茲ニ全國民諸君ニ對シ帝國存亡ノ關頭ニ立チ更メテ宣戰ノ大
詔ニ示シ給ヘシ。聖旨ヲ體シ生死一如ノ日本魂ニ徹シテ自奮自勵相互
信賴愈々加ハルベキ苦難ニ堪ヘ、進ンデ一切ノ行動ヲ戰勝ノ一途ニ集
中シ一日ヲシテ數日ニ値セシメ以テ國難ヲ打開セラレンコトヲ要請ス。

昭和二十年六月 日

內閣總理大臣 男爵 鈴木 貫太郎



内閣告諭案

皇軍陸海空一體ノ眞ニ感激スベキ善戰健闘ト官民不屈ノ協力敢闘トニ
拘ラズ沖繩本島ノ守備遂ニ成ラズ。恐懼何物カ之ニ加ヘン。

然レドモ沖繩島^本ニ於ケル作戰ニ依リ敵ニ與ヘタル損害ハ甚大ニシテ雷
ニ敵ノ作戰遂行ニ齟齬ヲ來サシメタルノミナラズ。其ノ精神上ニ與ヘ
タル打撃ヲ思ヘバ我が今後ノ戰爭遂行ヲ有利ニ導キタルモノ誠ニ大ナ
ルモノアリト謂フヲ得ベシ。

惟フニ敵ノ空襲ハ自今愈々苛烈ナルベク新ナル本土侵寇亦豫期セザル
ヲ得ズ。正ニ元寇以來ノ國難ニシテ帝國ノ存亡ヲ決スルノ秋ナリ。

神州ハ御稜威ノ下我等ノ祖先之ヲ護持シ我等相俱ニ之ヲ保衛シテ亦
天子孫ニ繼承セシムベキノ地ニシテ未ダ嘗テ外夷ノ侵寇ヲ許サズ。焉

ゾ之ヲ敵ノ蹂躪ニ委スルヲ得ンヤ。若シ此ノ志ニシテ違ハンカ我等何
ヲ以テカ 列聖ノ鴻恩ニ報ヒ奉リ又何ノ顔アリテカ我等ノ祖先ニ對ス
ベキ。唯一億悉ク劍ヲ執ツテ起テ決死敢鬪國體ヲ護持シ皇土ヲ保衛シ
以テ皇謨ヲ翼贊シ奉ルベキノミ。

即テ吾等ハ 聖訓ヲ恪守シテ義勇公ニ奉ジ朝野相依リ隣保相扶ケ紀律
ヲ尚ビ節制ヲ重ンジ各々其ノ職務ニ勵精シテ彌々士氣ヲ昂揚シ國家ノ
總力ヲ擧ゲテ敵ヲ千里ノ外ニ攘フベシ。作戰ノ方途ハ既ニ定マリ、戰
力充實ノ施策亦日ヲ逐テ進ム。而シテ國民義勇隊結成セラレテ國民ノ
隊任新ニ成ルアリ。政府ハ從來屢々聲明シタル所信ニ從ヒ果斷邁進ス
ベシ。

本大臣ハ茲ニ全國民諸君ニ對シ帝國存亡ノ關頭ニ立チ更メテ宣戰ノ大
詔ニ示シ給ヘル 聖旨ヲ體シ生死一如ノ日本魂ニ徹シテ自奮自勵相互
信賴愈々加ハルベキ苦難ニ堪ヘ、進ンデ一切ノ行動ヲ戰勝ノ一途ニ集
中シ一日ヲシテ數日ニ値セシメ以テ國難ヲ打開セラレンコトヲ要請ス。

昭和二十年六月 日

內閣總理大臣 男爵 鈴木 貫太郎

秘

内閣告諭案

皇軍陸海空一體ノ眞ニ感激スベキ善戰健闘ト官民不屈ノ協力敢闘トニ
拘ラズ沖繩本島ノ守備遂ニ成ラズ。恐懼何物カ之ニ加ヘン。

然レドモ沖繩島^本ニ於ケル作戰ニ依リ敵ニ與ヘタル損害ハ甚大ニシテ香
ニ敵ノ作戰遂行ニ齟齬ヲ來サシメタルノミナラズ、其ノ精神上ニ與ヘ
タル打撃ヲ思ヘバ我が今後ノ戰爭遂行ヲ有利ニ導キタルモノ誠ニ大ナ
ルモノアリト謂フヲ得ベシ。

惟フニ敵ノ空襲ハ自今愈々苛烈ナルベク新ナル本土侵寇亦豫期セザル
ヲ得ズ。正ニ元寇以來ノ國難ニシテ帝國ノ存亡ヲ決スルノ秋ナリ。

神州ハ御稜威ノ下我等ノ祖先之ヲ護持シ我等相俱ニ之ヲ保衛シテ永
ク子孫ニ繼承セシムベキノ地ニシテ未ダ嘗テ外夷ノ侵寇ヲ許サズ。焉

之ヲ

ゾ之ヲ敵ノ蹂躪ニ委スルヲ得ンヤ。若シ此ノ志キシテ違ハシカ我等仰
テ以テカ 列聖ノ鴻恩ニ報^イ奉リ又何ノ顏アリテカ我等ノ祖先ニ對ス
ルニ。唯一憶悉ク劍ヲ執ツテ起テ決死敢闘闘^イヲ護持シ皇土ヲ保衛シ
以テ畢謀ヲ鞏^イ賞シ奉ルベキナリ。

遵

道義

即チ吾等ハ 聖訓ヲ恪守シテ義勇公ニ奉ジ朝野相依リ隣保相扶ケ紀律
ヲ尚ビ節制ヲ重ンジ各々其ノ職務ニ勵精シテ彌々士氣ヲ昂揚シ國家ノ
總力ヲ擧ゲテ敵ヲ千里ノ外ニ攘フ^イ。作戰ノ方途ハ既ニ定マリ、戰
ヲ充實ノ施策亦日ヲ逐テ進ム。而シテ國民義勇隊結成セラレテ國民ノ
隊伍新ニ成ルアリ。政府ハ從來屢々聲明シタル所信ニ從ヒ果斷邁進ス

ベシ。
シトス

本大臣ハ茲ニ全國民諸君ニ對シ帝國存亡ノ關頭ニ立テ更メテ宣戰ノ大
詔ニ示シ給ヘル 聖旨ヲ體シ生死一如ノ日本魂ニ徹シテ自奮自勵相互
信賴愈々加ハルベキ苦難ニ堪ヘ、進ンテ一切ノ行動ヲ戰勝ノ一途ニ集
中シ十日ヲシテ數日ニ値セシ以テ國難ヲ打開セザレバコトヲ要望ス。

昭和二十年六月十六日

內閣總理大臣 男爵 鈴木 貫太郎